

平成 27 年度米子市文化ホール運営委員会議事録 概要

開会

岡文化課長挨拶

会長・副会長の選出

会長に田中国彦委員、副会長に寺岡利雄委員を選出。

議案 1 平成 27 年度事業中間報告について資料内容の説明・報告

田中会長

ただ今、事務局より今年度の中間報告がありましたが、これに対して意見等はありませんでしょうか。

田中智子委員

中間報告がありましたが、最近、鑑賞、発表会等で日程が重複することがよくあるので、重複についてどうにか整理できないのか、できればここで協議して、来年度に向かいたいと思います。

文化ホール自主事業で 10 月 27 日に実施された劇団四季のミュージカルは、自主事業としては 10 月 27 日ですが、前日の 26 日に劇団四季会員向けの公演を同じ内容でされます。公会堂で実施した米子市民劇場の例会が、それと同じ日の同じ時間、それも演劇公演となりました。演劇を鑑賞していく人たちを広げていこうと考えると、色々な形で協力し合えなかなと思います。また、これから行なわれる資料 7 ページの公会堂虹のひろばは 12 月 18 日の夜にありますが、コンベンションセンターでの個人の声楽コンサートと時間も日にちも一緒です。今年は虹のひろばと、コンベンションのナイトクルージングが重複していて残念でした。優れたホールをいっぱい持っている米子市ですので、どうしても重なることはありますが、できれば同じようなコンサートは重ならないようにホールの連携、情報交換ができるようになればいいなと思いました。

田中会長

その件については議題の 3 か、もしくはその他のところで、あらためて議題としたいと思います。

田中会長

その他なにかありませんでしょうか、ないようであれば議題の 2 過去の事業報告について

事務局からお願いします。

議案2 過去の事業実施状況について資料内容の説明・報告

田中会長

ただいま事務局のほうから前年度までの過去の事業実施状況について、このことについてご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田中会長

無いようですので、次の議題3今後の自主事業の方向性について説明をお願いします。

議案3 今後の自主事業の方向性について資料内容の説明・報告

田中会長

ただいま、来年度の事業計画について報告がありました、お気付きの点と、ご意見とかありましたらお願いします。

田中智子委員

文化ホールの鑑賞事業で劇団四季ミュージカルが続きます。教育委員会との共催となっておりますが、これはなにか理由がありますか、ずっと継続して劇団四季が来るのですか。

津田文化ホール副館長

劇団四季ミュージカルは米子市教育委員会、学校教育課と連携し実施しております。米子市内の小学生を対象にした事業であり、学校教育課が主体として実施され、文化ホールとしましては会場提供させていただく形で協力しております。劇団四季ミュージカルが引き続き選ばれたということです。

秋田委員

過去の経緯に携わっていたので説明します。実は劇団四季が全国を巡回するなかで、実施会場は翌年は実施しないという原則があります、ところが米子は受入れ体制が非常によく、劇団四季から継続して受入れが可能であれば、継続して公演をする事業として進めたいとの話があり、特別な配慮を劇団四季からいただいて毎年行なわれています。例えば今年松江でしたとすれば翌年はしないということになります。米子市文化ホールを含めて、米子の協力体制が他には無く、劇団四季としては受入れ体制がよく、実施しやすいのではないかと思います。

森委員

小学生と言いましても6年生を対象としており、米子市の小学校23校に呼びかけをしています。会場が文化ホールで、子供たちを送迎する必要がありますので、各学校に希望をとり、参加をさせていただいております。毎年非常に子供たちも楽しみにしている事業ですので知っておいていただければと思います。

田中智子委員

小学校23校全部が参加しますか。

森委員

全部ではないです。

田中智子委員

それは学校が参加申し入れをするのですか。

森委員

その通りです。

田中智子委員

中学校はないのですか。

秋田委員

小学生6年生のみを対象としています。

大田委員

淀江のさなめホールのランチタイムレコードというのはアナログのレコードですか。

藤原淀江文化センター館長

アナログのLPレコードです。時にはSP盤をかけることもあります。蓄音機でかけます。

大田委員

音楽のジャンルはどのようなものですか。

藤原淀江文化センター館長

幅広いジャンルで、映画音楽、ジャズ、クラシック、童謡をかけた月もあります。

大田委員

いろいろ希望をとってかけているのですか。

藤原淀江文化センター館長

毎月変えています。月替わりでテーマを決め季節感をだしています。例えば秋であれば紅葉、冬はニューイヤーコンサートとかを狙って実施しています。毎回20名前後、多い時では35名という時もありましたが、最近は20名前後の方がジャンル、ジャンルで楽しんでいただいております。

木村委員

収支計画について、収入が多い必要はないと思いますが、入場料をとられる事業で収支の差が大きなもの、小さいものがありますが、入場料の決め方は何かありますか。

藤原淀江文化センター館長

いろいろ考え方というものはあります。淀江文化センターにつきましては、例えば17ページが26年度の報告のところで星空コンサートを見ていきますと収入が981,000円で支出が283,000円で約20万の赤字になっています。これは事業を行なうにあたり、文化財団がある程度使う金額を設定しています。収入よりも沢山の方に来ていただいて、いいものをするを優先しています。赤字覚悟でやる事業もあります。その時も来館していただきやすい金額設定を行います。その下のさなめラララ♪ステージにつきましてはほぼ収支差0円となっています。規模が小さくアットホームな形で、地元の演奏家に出演いただき、入場料を低く設定し、皆さんに来ていただけるようにワンコイン、500円という設定になっております。公会堂、文化ホールのような有名アーティストを呼ぶものについては高い設定にしております。また収容キャパによって収支の目標値を決めます、客席588のさなめホールでは、400名ぐらい集めた時にどれだけ収入があるのか、支出がどれだけ使えるのか、ということをお勘案しながら事業を組み立てます。ただ入場料が高いと来られないということもありますので、ある程度の金額で気軽に来て頂くことを目標に実施しています。

木村委員

入場料の高いと来られないと思いますが、当初の予定で入場料に開きがありますが、料金の決め方は他にありますか。

松本主任

鳥取文化振興財団さんと共催する事業に関しては、料金設定に関しては鳥取文化振興財団さんから提案があります。例えば公会堂で行なう、なつかしの名画劇場については、文化庁の事業で料金が既に設定されています。また前年度から継続した料金体系がどうしても

急には変えられないので、そのまま引き続き同じ金額を継続していることもあります。収入を上げていない事業もありますので、入場料に開きがでると考えています。

藤原淀江文化センター館長

資料の 29 ページをご覧ください、淀江文化センターを例にご説明させていただきますと、メイン事業の事業収入 1,053,000 円、支出 1,441,000 円であり、388,000 円赤字を当初から見込んでいた事業です。星空コンサートは収入 105,000 円、支出 360,000 円、255,000 円赤字となっています。赤字はどのように補填されるかという点、米子市文化財団が公益財団法人と一般財団法人を選ぶ時期があり、一般財団法人を選びその時に持っていた資産を、公益目的事業に使用するように国から指導があり、そのときの資産を事業に充てており、皆さんに還元させていただいております。財団全体ではもう少し大きい金額になりますが、年次的に約 100 万円を文化ホール 3 館等の事業で使い、皆さんは沢山来ていただくような事業の進め方をしております。

木村委員

当然、料金差はあると思っています。料金差の違いについて聞いてみました。

田中会長

改めまして、一番初め田中さんからの意見で、各施設で同じようなイベントが重なることがある、それに対して各施設間の連携が取れたほうがよい、そういうことができるか、できないかというご意見がありましたが、この件について事務局からお伺いできますか。

松本主任

日程調整の件についてですが、まずナイトクルージングの件につきましては日程調整の会議をコンベンションと設けるようにしました。

藤山公会堂副館長

今年度コンベンションのナイトクルージングと虹のひろばが全く日程も同じで、なおかつ出演者も似通ったといったケースがありました。このためコンベンションの担当者と公会堂の担当者と直接話をするにすることで、日程はもちろん出演者に関しても情報交換をしながら、日程を上手くずらして、お互い宣伝ができるような形で今は動いております。

松本主任

今年 27 年度は指定管理期間の最終年度であり、その中で組織のあり方も見直しが行なわれ 3 館の連携ということに関して企画員の会議を強化するような提案をいただいております。先ほど田中さんが言われたように市民団体との日程調整ということになってくると、踏み

込んだ話になってくるので、日程調整等については具体的にもう少し話をさせていただく必要があるのかなと感じています。

大田委員

今はそこまではしていないですね。

松本主任

今はそこまではしていません。3館の調整をする際に情報があれば、重複することを少しでも避けることができると思います。情報のやり取りの仕方を考えていけたらと思います。

大田委員

今は、自主事業と市民団体との調整がせいぜいだと思いますが、米子労音で、一度だけ個人、何かの発表会と労音のコンサートがメインホール、イベントホールで重複したことが一度あります。ぶっちゃけた話、個人の発表会に参加する方はある意味義理で参加することもあります、お互いに入場料、費用がかかりますが、発表会に行かないといけないと、労音コンサートには行けないといった、ちょっとした騒動がありました。むずかしいとは思いますが、そういうこともあったと意識してもらえたらと思います。

田中会長

それでは議題は3つとも終了ということで、その他でよろしいでしょうか。

その他 補足資料 平成26年度モニタリング第三者評価内容の説明・報告

田中会長

年に1回しか集まらないので、3館に対する使い勝手、提案何でもいいので意見交換できたらと思います。お願いします。

田中彩子委員

日々、中学生、高校生の指導に当たっています。私自身も歌で参加し施設を使用しています。教員としての立場で話をさせていただくと、市民音楽祭の実行委員もしていますが、各演奏会に学生が入ってくる回数が少ない、といいますか、いろいろ分野で小学生も含めて中学生高校生が鑑賞する機会が減ってきている。もちろん学校ごとで鑑賞する機会はあると思いますが、個人的に楽しんでみようというような機会が減っていると思います。教育的なものを若者に対してなにかしら広げていこうと考えたとき、もちろん実践されていることもあると思いますが、もう少し力をいれていただけたら有り難いかなと思っております。学校で使用させていただく時、小中高生がホールを使わせてもらうときに少しで

も、料金的に配慮があればとても有り難く使わせていただけていると思っています。教育的な目的で使用するとき配慮があれば少し使いやすくなります、今はホールではなく公民館で練習することもあり、もう少し気軽にホールで歌わせていただけたらとか、楽器の練習をさせてもらえるような機会があれば、子供たちにとって、非常にいい機会になるなど日頃から思っています。

阿部委員

先ほどの話を伺って、古い話になりますが 30 年前に比べて会場の客席に若者が非常に少ないと確かに認識しています。個人の事業と 3 ホールの事業は違いますが、自主事業はこういった問題に対して打開策を含んでいるのでしょうか。公会堂ですが、第三者から見て、文化ホール、コンベンションは駐車場がある、公会堂は駐車場が無いから感覚的に使いにくいといったことがあり、どこかの駐車場を利用するとか名案はあるのかなと思います。

秋田委員

学校関係で 2 点申し上げます。中学校では毎年 1 回、中学生の 1 年生を集めて、各学校 3 年生の合唱コンクールで最優秀をとったところが出場する中学校の総合文化祭を開いています。今年は 11 月 12 日に公会堂であり、やはり公会堂の音響は非常によく、公会堂で歌える、鑑賞できることは、とても効果があると思います。本校も含めて何校かは、さなめ、公会堂、文化ホールを文化祭等で使わせていただき、担当の方の対応が非常によい、ご配慮いただいている、非常にきめ細やかな対応をしていただき感謝していることが一つ目です。もう 1 点は東山中学校が公会堂を使って文化祭を開催しましたが、どうしても音響、照明の機器を扱う関係でリハーサルが必要となり、本番は減免となりますが、リハーサル等、本番を含んでいないところで経費が係りますが、子供たちの教育という視点で配慮して頂ければ有り難いと思います。

森委員

小学校は 11 月の始め頃に小学校の音楽会を実施します。昔は公会堂を使っていましたが、公会堂が改修工事で使えなくなり、コンベンションに移って、引き続きコンベンションを使っています。交通の便といいますか、駐車場は公会堂の欠点といいますか、考えていかれないといけないのかなと思います。公会堂は米子市の真ん中で、付近の学校は歩いていくことができますが、コンベンションはほとんどの小学校がバスで移動していますので、また公会堂ということになると、対応できるのかなと考えております。また各文化活動について色々なチラシが小学校に送られてきますが、例えば淀江文化センターであったり、3 館だけではなく色々な所から、同じようなチラシが送られてきます。その都度その都度、子供たちに配っても、多分親も、「また同じものが来た」とか、あるいはそれを見ないで右から左となると思っています。文化の裾野を広げていくためには広報活動をもっと少し考えると、

もっともっと子供が持って帰ったものを親が見るとか、あるいは子供に興味をもつようなチラシ等を配ると、もう少し文化の裾野が広がるのではないかという気がします。

矢辺委員

私も初めて参加させていただきました。運営について初めて知りました。機会があるたびに3つのホールを訪れてみてどのような運営がされているか、今後逐一見ていきたいと思えます。

勝部委員

私は20年近く文化ホールを利用させてもらっています。最初の頃と比べ毎年感じが変わってくる気がします。最初のころは、職員の方とも和やかな交流があったり、夜行くと「こんばんわ」とか挨拶があって楽しい会話が弾んだりしていました。最近はみんな年をとって、足腰も悪くなっている方もおられます。車をスムーズに駐車場に入れたいのですが、最近は夜によく縄張りがしてあります。それについて聞いてきてくださいと言われました。みんなが遅くなってから練習に来たときに車がすっと入れないように、我々からすると入れてはいけない感じがします。いろんな縄張りがしてあるので、どういうことか尋ねたら、向こうの立体駐車場に入れてくださいと言われました。仕事が終わって飛んできて少しでも早く停めて練習がしたいので、一台でもいいので、停められるように、なんとか考慮してもらえないかとの声がありました。

津田文化ホール副館長

駐車場の管理につきましてはメインホール、イベントホールを使っている方で、駐車場を確保してほしいという方に5台とか、3台とか駐車場を確保することがあります。そのときはパイロンで縄張りと言いますか、仕切るような形で、他の方が使いにくい状況になっているのは確かです。

勝部委員

私たちが行く時は夜で、使用していないので、夜はなるべくなら足が悪い人がいるので使えるようにしてもらいたいという意向があります。だんだん停められなくなってきているような気がします。

山下文化ホール館長

文化ホールは駐車場が本当に狭くて、一般のお客様、会場をご利用いただくお客様には立体駐車場に停めていただくようお願いしています。それで主催者の方で必ず後ろに停めないといけない場合はさきほど言いましたように場所は確保しています。確かに夜来られて「空いているのに」と思われるのですが、身障の方のスペースもありますので、ご協

力をお願いしたいと思います。

勝部委員

先だって停めようとしたら、見張りみたいにある人が立っておられまして、しょうがないから立体駐車場に停めましたが、なにか意地悪をされている気がしました。

山下文化ホール館長

対応がちょっとまずかったということはあるかもしれませんが。重たい荷物を降ろされるときとかは言うていただければ、対応するようにくれぐれも言うておきます。

勝部委員

停められる範囲は停めてもいいですよ。

山下文化ホール館長

一般の方は立体駐車場をお願いします。身障の方、主催者の方で、必ずそこに停めないといけない方に限定しております。

勝部委員

基本的には停めてはいけないということですね。みんなに周知しないといけないので。

秋藤委員

私は淀江の出身で現在も淀江に住んでいて、子供が小学校に通っています。淀江は学習発表会とか、ことあるごとに、さなめホールさんを利用しています。体育館でするよりも子供たちの経験は上がると思います、学習的な観点から言うとホールを多く使っていただきたいと感じています。もう一点広報の関係で色々話がありましたが、ホームページ等々ありましたが、今は結構フェイスブックが主流になってきている中で、さなめホールさん以外は、アカウントはもっているが使っていないという感じがします。フェイスブックも活用していただいたらなと思います。

木村委員

文化ホールはよく使いますが、公会堂とさなめホールはあまり使わない。公会堂は改修前から駐車場の問題があって、使うときに本当に駐車場に困る、市役所から歩くと相当距離があります。前の有料駐車場が大変賑わっていいかなと思います、やはり少しでも、何か駐車場の対応ができればなと思います。

田中智子委員

今回の中間報告ではいろいろと工夫をされていて、私もあまり参加できていないことが多いですが、まちなか音楽祭は、街の中で色々なことがされていて良かったと思います。先ほどフェイスブックのことを言われましたが、まとめて色々なことを通してやるアプローチが少し弱いのかなという感じがします。一個一個の事業のポスターチラシはメイン事業を中心としきちんとしたものをいただきますが周知の期間が短いと思います。米子の方はぎりぎりになって動く方がいますが、前もって準備している方もいます、1年先とは言いませんが、半年ぐらい先の広報の仕方も考えていただければと思います。またこれからの事業に期待したいと思います。

大田委員

情報提供として聞いていただきたいのですが、米子労音というのは米子市文化ホールで年間、6例会で非常にお世話になっております。つい先ほど、ピアノの演奏会をやりましたが、そのときに非常に調律に手間取り、時間がかかりました。ピアニスト、演奏者も薄い根拠が無いままに注文をつけるタイプではないと私は思っています、小菅優といいます、後で調律でトラブルでもあったのかと聞いてみると、調律の問題ではなく、ピアノのメンテナンスの問題ではないだろうかと本人は言っていました。私もメンテナンスについて全く分からないので、話はそこで終わりましたが、そういう一件がありましたので、しかるべきところで協議をいただけたらと思います。彼女も演奏については厳しいものを持っていますし、世界を渡り歩くピアニストにとっては色々気になるのではないかなと思います。また舞台の関係の方には大変丁寧にお世話になっております、非常に感謝しております、機会がありましたらよろしくお伝えしていただけたらと思います。

田中会長

私から気になったこと、24 ページですが、公会堂で特記事項として出ていますが、バス停のゴミを拾ったとか、枝を切ったとか、滑り止めテープを張ったとか、障害者用トイレに点字を張ったとか、ごく当たり前のことだと思います。特記事項で載せられるということが不思議な感じがしました。ごくごく普通で当たり前のことを敢えてやっていますよ的に特記事項で出されると逆に怪しいというか。本当に今みなさんからお褒めの言葉がありましたが、担当者レベルで良くしてくれたと言う人は多いのですが、してあげているという気持ちが見えている。そういうことを普通にやっていたら文書に載ってこないと思います。公会堂の方がゴミ拾いをすることは大変良いことですし、逆に当たり前のことだとも思います。転字シールが無かったところに貼ることも、もともとの整備ができていなかった、初めから整備しておかないといけないことだと思います。それが改めて並んでいるとちょっとどうなのかと思いました。それともう1点、3施設ではないんですけど、今すごく気になっているのが、図書館、美術館でこちらの管轄ではないとは思いますが、この3館と図書館、美術館の関係というものはありますか。

松本主任

関係性で言いますと、美術館の管理をしているのも、米子市文化財団で同じ団体です。同じ団体なので、年次的な異動で職員が入れ替わるということがあります。現にいま文化ホールの企画員の1人も2年前までは美術館で学芸員として企画展示を担当しておりましたが、今は文化ホールで企画をしています。

田中会長

図書館、美術館が2年前新しくなって、図書館はすごく以前よりも入りやすくなり、使いやすくなったと思います。図書館と美術館の広場の有効活用、例えば極端ですが、朝市ができたり、フリーマーケットをやったりとか、公会堂前庭と同じような機能であそこを使えたらなと思います。また美術館の使用のことで色々と交渉しますが、例えば、この部屋は大きな声を出されては困るとか、ワークショップ等で壁や床に色をつけるような使い方は困るとか、美術館だけあって制限が厳しいなと感じています。やはり3施設の目標にあったように、文化芸術の裾野を拡大していこうか考えると、美術館ももう少しだけたところがあってもいいと思います。美術館全体で考えますと、展示されているものや収蔵されているものの保存状態は気になるころではありますが、例えば、この部屋だけは自由に使えて子供が騒いでもいいよ、ワークショップいいですよ、ペンキが壁についてもいいですよ、初めから工夫をしておくとか、美術館に市民を近づけるような工夫ができれば米子の文化芸術活動といいですか、美術館がもっと市民に近づいてくるんじゃないかと思いましたので、こういう席ですので一度提案させていただきました。

岡課長

今、色々ご意見をいただきましたので、文化課のほうで答えられるものを答えておこうかと思えます。

公会堂の特記事項ですが、指定管理の申請とタイミングが重なったというお話を最初させていただきましたが、指定管理申請書類ではこういったことを色々細かく書くことになっており、その書き方で記載したと思います。ここでの議案の中に載せるべきだったかどうかは検討する余地があったと思います。議案は議案として検討すべき点はあろうかと思えます。

それと、図書館と美術館の広場ですが、何回か利用したことがあり、例えばガイナールの応援イベント、図書館祭り等に使いましたが、日常的にはなかなか使えていない状況です。一つは広場が移動図書館のバスの侵入通路になっていたり、搬入等の車の通り道になっていたり、それから人が行きかう通路になっていたりするので若干使いにくいところもあると考えております。しかし、そうでない時、あるいはイベント等で図書館、美術館と連動して使うようなことがあれば検討してみたいなと思えます。

美術館の使用に関してですが、米子の美術館の弱みといいですか、改修工事を行いまし

たが、結局はスペース的にももとの美術館の面積はほとんど広がっていない、喫茶コーナーの面積分はちょっと広がりましたが、後は従来どおり建物の改修に終わりました。今の美術館がもともとギャラリー的に使う目的で、本当にぎりぎりの面積の中で、展示室を最大限に取り、最初予定していなかった、収蔵庫を設定したという経緯もありまして、本当に余分な部屋がありません。部屋に傷がついたり汚れたりすると展示室として使えなくなります。会議室が余分にあれば色々なスペースとして使えますが、そういった場所もありません。こういったことがあり自由にお使いいただけない状況があります。特別な企画、ミュージアムスクールで展示室に特別な設えをして絵の具がこぼれてもいいような仕様で事業をすることはありますが、例外的な使い方となっているのが現状です。

公会堂の駐車場の件でご意見をいただきました、これも色々な方面でよく言われることですが、公会堂を改修するかどうするかという議論があった時に、もちろん駐車場の話もあわせて出ていました。駐車場をどう整備していくか、改修をどう進めていくか、いろいろ検討していきましたが、建設のコスト、ランニングコスト等を含めて検討し、結局、駐車場は現状どおりとなりました。台数的に停められるかということについては、公会堂の定員が1120で、定員分の車は周辺の駐車場、半径200から300mで確保できます。あと、市の施設を駐車場として活用できないか検討しましたが、例えば、ふれあいの里の駐車場ですと、ふれあいの里の利用者だけで手一杯で対応できない部分の駐車場を整備するという状況です。なかなか公会堂のお客さんまで対応できない状況です。それから近くには高島屋の裏側にローズセントラルビルがあり、市営の駐車場が開発公社が管理しています。稼働率からいって、なかなか公会堂のお客さんに開放するだけのゆとりが無いといった現状です。いろいろ検討した中で、結局は、距離が長いのですが市役所の駐車場について、公会堂のイベントに行かれた方を無料にしております。平日は市役所の駐車場も最大限に混むこともありますので、市役所が終わったあと五時半以降、夜、休日に限定しています。イベントは夜とか休日とかが多いかと思しますので、そういった時には市役所の駐車場に停めていただいて、無料処理をいたします。できれば街をぶらぶらしていただいて、公会堂は中心市街地の一角にも属しますので、中心市街地の活性化にもいくらか寄与できればという思いもあり、そういう対応をさせていただいております。なかなか難しい話ですが、スペース的なものコスト的なものを含めて現状そういう対応でしかできないと考えておりますので、それをご理解していただいた上で、近くの駐車場を使っただいて、例えばそこで買い物をしていただければ中心市街地の活性化に繋がったりするのかなと思いますので、ご協力をいただきたいなと思います。

田中会長

ご丁寧な回答ありがとうございます。

以上意見なく閉会。